

新着図書情報

泗水図書館



薄闇シルエット 角田光代 著
ハナは下北沢で古着屋を営んでいる37歳。ある日、十年先の付き合いの恋人から結婚を迫られたことをきっかけに、恋愛と仕事について模索していくことになり...

異常気象売ります 上・下

シドニィ・シェルダン 著

世界を襲う異常気象。世界各地で同時多発的に事故死する科学者たち。極貧の中からスターの座を勝ち取る美女。美女を射留める醜悪な小男...

死顔

吉村 昭 著

自らの死を自覚して延命治療を拒んだ著者が、遺書のように書き残した短篇集。自らの最後とも符号する表題作など、全5篇を収録する。闘病と最後の刻を夫人・津村節子がつづる「遺作について」を併録。

きみを想う瞬間

ジャクリーン・ミチャード 著

きみを失うなんて考えたこともなかった。最後のクリスマス・イブ、ぼくはきみに何を伝えればよいのだろう。突然、脳出血に見舞われ、12時間後に死にゆく妻。その時夫は、そして娘たちは...

北前船の事件

平岩弓枝 著

谷中・感応寺境内で、越後出身の水主ではないかと思われる殺人死体が見つかった。その直後、南町奉行・根岸肥前守の侍女お鯉が、忽然と消えた。かくして、新八郎は越後に向かったのだが...

通天閣

西加奈子 著

夢を失いつつ町工場で働く中年男と、恋人に見捨てられそうになりながらスナックで働く若い女。ふたりは周りの喧騒をよそに、さらに追い込まれていく。しかし、通天閣を舞台に起こった大騒動がふたりの運命を変えることに...

僕僕先生

仁木英之 著

退屈している暇はない！不老不死にも飽きた辛辣な美少女仙人「僕僕」と、まだ生きる意味を知らない弱気なニート青年「王弁」が、5色の雲と駿馬を走らせ、天地陰陽を駆け抜ける！

愛国の作法

姜尚中 著

複雑な国際関係の中、今、日本国民は、憲法、歴史とどう向き合うべきなのか。声高な愛国論で何が損なわれるのか。日本と韓国、ふたつの「祖国」のはざまから鋭い問題提起を続けている政治学者が贈る、この国の正しい愛し方。



アルジャジーラとメディアの壁 石田英敬 中山智香子 著

「帝国」の情報秩序に、果敢なジャーナリズムで介入する砂漠のテレビ。イメージと戦争の倒錯を超えて、「爆撃される側」の現実を伝え、アラブと世界に訴える。「テロとの戦争」の真実と、情報とイメージの地政学。

君を守りたい いじめゼロを実現した公立中学校の秘密

中嶋博行 著

公立中学校が実践した「君を守り隊」の驚くべき成功をはじめ、いじめ撲滅の即効的かつ具体的な解決法が満載。犯罪被害者問題の第一人者でもある現役弁護士・作家が世に問う、画期的な「いじめ消滅」の実践本。

天と地の守り人 第1部

上橋菜穂子 作、二木真希子 絵

行方不明の新ゴゴ皇国皇太子チャムを救出すべく、女用心棒バルサはひとり、ロタ王国へとむかう。『精霊の守り人』にはじまった壮大な物語の最終章、3部作の第1弾。

きみへのとくべつなおくりもの

デイビット・ウエンゼン 絵

マックス・ルケード 作



木ぼりの小人ウイミックたちのもとに、ある朝不思議なおくりものが届けられた。それそれぴったりのおくりものに、みんな大喜び。でも、いったいだれが、何のために？

百まいのドレス

エレナー・エステイス 作

いつも同じ服を着ているワダが「あかし、ドレスを100まい持ってる」と言っても、だれも信じませんでした。そんなところでも、どんな人にも起こりうる差別の問題を、むずかしい言葉を使わずに描いた、アメリカの名作。

およぎたいゆきだるま

くぼりえ 作・絵

海を知らない雪だるま。海に行って見たくて泣き出しました。雪の涙が地面に落ちると、あたりは突然夏の海になって。筋力が低下するという難病を抱えた著者が描き上げた伸びやかな鮮やかなファンタジー。

絵本の中のおいしいスープ

東條真千子 著

『銀河鉄道の夜』や『クマのプーさん』『ぐりとぐら』など、子どもの頃に親しんだ絵本に登場したスープのレシピをご紹介します。かぼちゃやポテト、肉だんごなど、子どもと一緒に読んで、作って、食べたいスープが満載です。

中央公民館図書室

ぼくと1ルピーの神様

ヴィカス・スワラップ 著、子安亜弥 訳

クイズ番組で史上最高額の賞金を手に入れた少年ラム。警察は孤児で学校にも通っていない彼に答えられるはずがないと詐欺の疑いで逮捕。インドの過酷な現実を題材に、幸運を呼ぶ1枚のコインを頼りに強く生きる少年の姿を描いた物語。

女たちの江戸開城

植松三十里 著

慶応4年、戦いに敗れた15代将軍慶喜が江戸へ逃げ帰って来た。慶喜から朝廷との仲介を頼まれた皇女和宮の密命を受け、大奥の土御門藤子は、京へ向かう。残された日記を基に描かれた女たちのドラマとは。

こわいものしらすのジャン

アラン・メッツ さく

こねずみのジャンは、夜、電気もつけずひとりでおしっこできるし、高い木の上も、ライオンだってへっちゃら。ある日、スズメバチに刺された暴れソウがやってきた。みんなは怖くて逃げ出したのだが...



空白の叫び

貫井徳郎 著

工藤・葛城・神原の三人は、どこにでもいる「ふつうの少年」。しかし、それぞれ殺人を犯し、少年院で出会う。卒業し、別々の道を歩み始めた三人だが、新たな犯罪に手を染めようとしていた。少年法改正以前を舞台にした、登場人物の悲痛な叫びが胸に迫る長編ミステリー。

ねずみ女房

ルーマー・ゴッデン 作

小さなねずみの女房は他のねずみと違っていた。捕らわれたハトと出会って、知らない世界の存在に気がついたからだ。自由を知り、憧れ、そして不遇な彼（ハト）を想う。ついには渾身の力で彼を救い出すのだが...

この本を読んでみると、自分が強くなった気分になります。最初は弱くて泣き虫だった男の子、ラチをライオンが強くしてあげるお話です。そんなラチは、大人になつたらひこうしになりたいて思っていました。でも、みんなは「なきおしなか、ひこうしになるのはむりだ」と思っていました。ラチにはすぎな絵がありました。ライオンの絵です。次の朝、ちいさな赤いライオンがそばにいてラチは「きみは、なんのやくにもたないじゃ...

「ライオンくん。きみがいたからラチはつよくなれたとおもうよ」この本を読むと、みんなも勇気がでてくると思います。ライオンくん。きみがいたからラチはつよくなれたとおもうよ。この本を読むと、みんなも勇気がでてくると思います。ライオンくん。きみがいたからラチはつよくなれたとおもうよ。この本を読むと、みんなも勇気がでてくると思います。



ラチとライオン

マレーク・ペロニカ ぶん・え



さとう 佐藤ゆきさん (七城小3年)

目より情報

カルタ遊びや懐かしいあそび

1月21日(日)午後2時からのお楽しみ会では、カルタ遊びや懐かしいあそびをします。皆さんの参加お待ちしております。(泗水図書館)

グループ藍写真展

期間：1月7日(日)～1月30日(火) 後世に残したい熊本の風景をテーマにした「グループ藍」の写真を展示します。ぜひ、一度ご覧ください。(泗水図書館)

鏡開きって？

1月11日(木)は年神様(としがみさま)にお供えていた鏡餅を下ろして、お雑煮やおしるこに入れて食べる正月の行事の日です。この餅を食べることで、新しい年を元気に生きていくための強い力を、神様からわけてもらえると考えられていたそうです。刃物を使わずに、手で割り開くしきたりから「鏡開き」というようになったと伝えられています。

小正月

1月1日の「大正月」に対して呼ばれます。1月15日(月)小正月の行事には、農作業に関係したものが多くみられ、餅花や繭玉を飾って豊作を願って祝ったり、「どんど焼き」など火を燃やして病気や災害のないことを願うものがあり、全国各地にそれぞれの形で残っているそうです。(中央公民館図書室)

問い合わせ先

- 中央公民館図書室 ☎ (25) 1672
七城公民館図書室 ☎ (25) 1580
旭志公民館図書室 ☎ (37) 3111 内線 303
泗水図書館 ☎ (38) 6866

1月の予定

Table with 5 columns: Date, 中央公民館図書室, 七城公民館図書室, 旭志公民館図書室, 泗水図書館. It lists various events and closures for the month of January.